

地域医療を支える診療所

ペガサスは、地域の診療所と連携をとっています。診療所は、地域の皆さまにとって、医療を受ける「最初の窓口」。丁寧な診察による適切な診断・治療を行い、皆さまの健康管理を支援しています。

地域に密着したホームドクターとして、 ご家族みなさまの健康管理をお手伝いしています。

南海本線・泉大津駅のほど近くにある中医院。先代のお母さまがこの地に開業、昭和59年に中透院長が継承されました。地域のホームドクターとして活躍する傍ら、泉大津医師会の会長として地域医療に貢献する中院長に、同院の特色や診療方針などをお伺いしました。



当院は、先代の頃より地域に密着して診療を行ってきたこともあり、親子二代、三代にわたって来院される方が大勢いらっしゃいます。小さなお子さんからお年寄りまで、ご家族ぐるみで通っていただけるので、文字通り「ホームドクター(家庭医)」として、ご家族みなさまの健康管理をお手伝いしています。

診察にあたっては、患者さまの家庭環境も考慮して、 unnecessary 検査はせず、最適な薬を処方するよう心がけています。また、小さな病気を見逃すことなく、必要であればすぐに大きな病院を紹介しています。同様に、近隣の診療所との連携も緊密です。幸い、この地域には整形外科、外科、皮膚科、眼科など各種の診療所がそろっていますから、何かあれば、すぐに紹介して受診してもらっています。

近年は、在宅で療養される方のニーズに応え、往診の機

会も増えてきました。常勤の看護師を3名そろえ、依頼があれば、すぐに駆けつける体制を整えています。私がすぐ動けないときも、看護師が先に訪問して、必要な手立てをすることで、介護するご家族にも安心していただいています。

こうした診療業務と並んで、この4月から、泉大津医師会の会長に就任し、泉大津市・忠岡町全体の医療に貢献する活動に取り組んでいます。医師会に所属する医師同士の協力関係を築きながら、泉大津市立病院との対話も深め、この地域により良い医療を提供できるよう力を注いでいきたいと考えています。



中医院

院長：中透
住所：大阪府泉大津市田中町9-16
TEL: 0725-32-1578
診療科：内科、循環器科、小児科

ペガサス医療体験デイ 就活バージョン

平成25年度の日程決定

毎回好評の「ペガサス医療体験デイ 就活バージョン」。看護師、リハビリテーションスタッフ、薬剤師、介護職員をめざす学生の方や既卒の方を対象に、院内体験見学や就職についての説明会を開催します。ぜひ、お気軽にご参加ください。

開催日 8月6日(火)・13日(火)・20日(火)・27日(火)
9月14日(土)/12月14日(土)/1月11日(土)
受付時間 12:30～

看護師
求人サイト



看護師
動画サイト



詳しくはペガサスのホームページをご覧ください。 <http://pegasus.or.jp/>

私たちと一緒に働きましょう。 介護職員募集中! 随時受付しています。

ペガサスでは今、介護職員を募集中です。いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

7月 ペガサスセミナー

骨折の怖さ!転倒予防のおはなし!

講師：馬場記念病院
整形外科 窪田 穰
日時：7月31日(水)午後2時～3時
場所：馬場記念病院 1階ロビー

7月 ペルセウス介護支援セミナー

成年後見制度ってどんな制度?

講師：医療福祉相談室
石川卓哉・木村綾香・山本恵理
日時：7月30日(火)午後3時～
場所：介護療養型老人保健施設ペルセウス 3階食堂

7月 ペガサスセミナー和泉

食中毒予防について

講師：ペガサス訪問看護ステーション和泉
阿武美穂子
日時：7月25日(木)午後2時～3時
場所：介護療養型老人保健施設エクウス

PEGASUS NEWS



ペガサスニュース

発行人／馬場武彦
発行／社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集／ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力／HIPコーポレーション
発行／平成25年6月28日

Vol. 60

法人本部から地域の皆さまへ

馬場記念病院のすぐ近くに、 サービス付き高齢者向け住宅 「ペガサスロイヤルリゾート」が 平成26年2月にオープンします。

サービス付き高齢者向け住宅は、医療・介護と連携し、高齢者の皆さまに安心のサービスを提供する賃貸住宅です。ペガサスでは現在、堺市西区で「ペガサスロイヤルリゾート石津」を運営し、健康に不安を抱える高齢者や障がいをもつ皆さまに、ペガサスグループならではの質の高い医療・介護サービスを提供しています。そこで培った貴重なノウハウをベースに、平成26年2月、馬場記念病院やペガサスリハビリテーション病院へ徒歩5分という好立地に、「ペガサスロイヤルリゾート」がオープンする運びとなりました。

「ペガサスロイヤルリゾート」は、自立している方はもちろん、介護度の高い方、あるいはご夫婦でも入居できる、ゆとりと安心の居住空間をご用意。温かいお食事を提供するフードコートを設けるなど、日常生活の快適性にもきめ細かく配慮しました。住み心地を試してみたい方のために、入居体験も行っています。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。



ペガサスならではの安全と安心をご提供。

- 緊急時、馬場記念病院が受け入れ
- ペガサスクリニックから医師の往診あり
- 全戸緊急呼び出しコール設置
- 24時間介護の有資格者が常駐
- 「デイサービス」「ケアプランセンター」「訪問看護」併設

<お問い合わせ先>

お客さま相談室 070-6924-2990 受付時間 9時～18時

79名の新入職員を迎え 入職式を行いました。



ペガサスグループでは今年度、79名の新入職員を迎え、4月1日に馬場記念病院会議室にて入職式を行いました。辞令交付後、理事長 馬場武彦から挨拶があり、新入職員たちは引き締まった表情で耳を傾けていました。

当日の午後から早速、新入職員研修がスタート。ペガサスの基本理念などを学び、グループワークを通じ、職種の異なる職員同士が交流を深め、結束力を高めました。

岡田玲一郎先生による新人研修を開催。

6月5・6・7日の3日間にわたり、新入職員を対象にした新人研修を行いました。これは、社会医療研究所所長の岡田玲一郎先生を講師に招き、毎年開催しているものです。岡田先生の講演に続いて、参加者はグループに分かれ、さまざまなテーマについて活発に意見交換しました。約半世紀にわたり海外や日本の医療を見続けてきた岡田先生の指導は含蓄に富み、参加者は皆、大きな成果を得たようでした。



シリーズ 24 呼吸器科

呼吸器疾患の治療とともに、
予防医学の観点から、積極的に
「禁煙」をサポートしています。気管支喘息は、薬の
正しい吸入がポイントです。

馬場記念病院ではこれまで、呼吸器疾患については内科の外来で診療してきましたが、この4月1日から新しく「呼吸器科」を開設し、本格的に診療する体制が整いました。

当科では主に、気管支喘息、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、間質性肺炎等と、在宅酸素が必要な方の診断・治療を行っています。このうちもっとも多いのは、気管支喘息です。この地域は臨海工業地帯に近いことから、昭和40年代に大気汚染が深刻化しました。その影響もあり、長年、気管支喘息を患っている人が多くいらっしゃいます。気管支喘息は、適正に治療をすれば、コントロールが可能な病気です。主な治療法は吸入ステロイド薬ですが、なかには吸入方法を間違えているために、症状が改善せず、発作を起こすケースがあります。そこで当科では「正しい吸入方法」に力点をおいて、時間をかけて丁寧に指導しています。また今後は、ステロイド薬に代わる新しい薬も積極的に導入していく計画です。

COPDは早期発見して
治療することが大切です。

気管支喘息と並んで多いのが、COPDです。以前は、肺気腫、慢性気管支炎と呼んでいましたが、WHO（世界保健機関）のガイドラインにそって、日本でもCOPDとすることになりました。COPDは長年の喫煙により、気道や肺に炎症が生じる病気です。タバコを10年、20年と吸い続けると、動

作時の息切れ、咳や痰といった症状が現れます。治療はまず、禁煙で、その後吸入薬を中心として、きちんと治療すれば、症状が和らいでいきます。ただし、COPDの治療を受けている人は少なく、全国で推定500万人の患者数のうち、医療機関にかかっているのは26万人と言われていす。喫煙者で息切れなどの症状がある人は、一度受診されることをおすすめします。

健康保険で、禁煙治療が
受けられます。

COPDが進行すると、常に酸素が必要な生活になります。そうならない



呼吸器科 部長 玉垣 芳則

ように、当科では「禁煙外来」を開設し、禁煙指導に力を入れています。

禁煙は「本人の意志次第」と思われがちですが、それを阻んでいるのはニコチン依存症という病気です。ニコチンは非常に依存性が高い薬物で、簡単に止めることができません。治療方法は、貼り薬と飲み薬の二種類があり、どちらかを選択していただき、下記の表のように12週間にわたって治療を続けます。最近の良い薬が開発され、一定の条件を満たせば、健康保険での治療が適応されます。「タバコを止めたいけれど、止められない」という方は、いつでもお気軽にご相談ください。

禁煙外来の受診スケジュール

12週間のうち5回受診していただいた分が、保険適用の対象になります。



酸素療法をしながら、旅行も楽しめます。

呼吸器科開設と同時に、患者さまのメリットを考え、帝人ファーマ(株)社製のHOT(在宅酸素療法)機器を扱うことにしました。同社では全国に広がる拠点網を活かし、患者さまの外出・宿泊を支援。宿泊先へ酸素濃縮器や酸素ボンベを届けています。これからは、このサービスを利用して、旅行も存分に楽しんでほしいと思います。詳しくは当科でお尋ねください。

TOPICS
1

「初任者研修」講座開講

介護職の資格取得を
ペガサスがサポートします。



ホームヘルパーに必要な「ヘルパー2級」が「介護職員初任者研修」に変更されました。この資格をめざす方のために、ペガサスでは、この4月から「初任者研修」講座を開講。通信+通学のスタイルで、ペガサスならではの医療知識をしっかり指導しています。資格取得までは最短4カ月、ご希望者には100%就職のご紹介をします。次の講座は、秋口に開講予定です。

TOPICS
3

「ハートコール」開設

馬場記念病院・循環器科では、
診療所の先生と直接結ぶダイヤルを開設。



循環器科 部長 山下 啓

かかりつけ医と専門医が情報共有することで、地域の循環器疾患の患者さまをしっかりと支えていきたい。そうした思いから、馬場記念病院・循環器科では、診療所の先生方から循環器専門医に直接つながる「ハートコール」を開設。循環器疾患が疑われる患者さまについてのご相談、検査や治療法についてのご質問などに丁寧に対応し、より良い医療の提供をめざしています。

TOPICS
5

「リハビリテーション充実加算」取得

回復期の患者さまに、充実した
リハビリテーションを提供しています。



回復期リハビリテーション病棟では、質の高いリハビリテーションを提供している施設を評価する観点から、診療報酬において「リハビリテーション充実加算」が設定されています。馬場記念病院とペガサスリハビリテーション病院の回復期リハビリテーション病棟では、この充実加算を取得。患者さまに対し、1日2時間以上の充実したリハビリテーションを提供し、一日も早い社会復帰を強力に支援しています。

TOPICS
2

栄養サポートチーム

ペガサスグループ全体で
栄養サポートの強化に努めています。



ペガサスリハビリテーション病院、介護療養型老人保健施設「ペルセウス」「エクウス」では、馬場記念病院で行っている栄養管理手法に学び、栄養サポートの強化に取り組んでいます。具体的には、施設の各フロアに、ペガサスの嚥下訓練テストに合格した「嚥下担当者」を配置。患者さまやご利用者の嚥下障害にきめ細かく対応し、適正な栄養管理に努めています。

TOPICS
4

「優良防火管理者」表彰

優良な防火管理体制に
ついて表彰されました。



3月7日、消防局で開催された「平成25年自治体消防発足記念式典」において、馬場記念病院が「優良防火管理者」の部門で選ばれ、代表として事務部長の田中恭子が市長表彰を受けました。これは長年、防火対策に努め、火災事故ゼロを続けていることや、防災訓練などを適正に行っていることが評価されたものです。これからもペガサスでは、職員の力を合わせて防火管理を推進していきます。

TOPICS
6

365日のデイサービス

土・日・祝もOK。年中無休で
ご利用いただけます。



「デイサービスセンター石津」「デイサービスセンター石津2号館」では、お食事や入浴サービスを提供するほか、個別機能訓練や季節の行事、レクリエーションなどの多彩なプログラムをご用意しています。営業は、盆休みや年末年始も含め、年中無休。ご家族が少し介護をお休みして、休日にお出かけしたいときなども、お気軽にご利用いただけます。